

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP

車両規則



2016. 2. 5 発表

No. 1

車両規則 凡例 [自由] : 変更・追加・取り外し等が自由な項目
 [不問] : 原則条件を問わない項目
 [推奨] : 装着を強く求める項目

[不可] : 変更・追加・取り外し等は認められない項目
 [必修] : 必ず満たされている、装備していることが条件となる項目
 ※ 緑字 : 走行前車検(安全性の確認)項目
 ※ 網かけ : 2016 シリーズから変更された項目

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP クラス 区分		TC-1	TC-2	TC-3		TC-4	TC-5		
車両規格		新・旧規格	新・旧規格	新規格	旧規格	新規格	新規格	旧規格	
生産国と車種	制限	日本国内で生産される国産軽自動車に限り、トラックタイプ・4WDのRVタイプ・1BOXタイプでの出走は 不可 とする。							
過給器	有無	有	無	不問					
変速機(AT)	制限	不問						必修 AT限定	
自動車検査証	有無	不問 ※ 登録No付車両については、本規則に基づき変更される全ての部品は保安基準適合品とし、国の定める保安基準を完全にクリアーしている状態とする。							
サイズ(全長)	制限	3,400 mm以下			3,300 mm以下		3,400 mm以下		3,300 mm以下
(全幅)		1,480 mm以下			1,400 mm以下		1,480 mm以下		1,400 mm以下
(全高)		原則 1,550 mm以下とするが、これをを超える場合でも条件 注2 をクリアーすればエントリー可能な場合もある。							
トレッド(タイヤの外側から外側)	変更	自由 ※ 測定位置はハブの中心の高さとし、上記ボディサイズ(全幅)以下とする。							
車体重量	制限	※ 燃料の積載量に関係なく600 kg以上とする。 必修 ※ 計量は決勝走行前後に適宜実施されるが、計量直前の燃料補給等を含む重量調整はできない。 また、ウェイト等による重量調整は、ボルトでボディに固定されていること。							
	特例	-			ロールゲージ非装着車両は、車検証に記載される車両重量 -10 kg 以上とする。 注3				
モノコック	改造 変更	不可							
走行中の音量	制限	必修 ※ 走行中の給排気音量を 100db(A)以下とする。 注4							
ゼッケン	番号	必修 ※ 希望番号がある場合、原則、先着順で主催者が決定する。ただし、「No.0」と「No.1」、ならびに3桁以上の番号を希望することはできない。							
	貼り付け	場所 大きさ	必修 ※ ゼッケンはボンネット・左右ドア・リアに貼付し、縦 15~30 cm程度のアラビア数字とする。						
	色	数字 / 下地	白色 / 赤色 10	赤色 / 白色 20	黒色 / 黄色 30	黒色 / 白色 40	緑色 / 白色 50		
ステッカー等の広告	貼り付け	自由 ※ 不適当なものは主催者より撤去修正が命じられる。 なお、全てのガラスウィンドウについて、他車両の目視確認を妨げ、著しく視界を遮るステッカー類の貼り付けは禁止する。							
自動車登録番号標(ナンバープレート)	取り外し 変更	自由 ※ 競技中のみとする。							
特記事項	注1 新規格車両とは、1998年(平成10年)10月以降に製造された軽自動車をいう。 注2 主催者が認めた車両で、6点式ロールゲージの装着が必修で、使用タイヤに制限(トップグレードタイヤの使用が不可。)がある。 注3 ロールゲージ非装着車両でエントリーする場合、運転席の変更、車載工具の取り出し等を考慮し特例としている。 ただし、車検証(車体番号と照合ができれば、車検証の有効期限は問わない。)の写しを提出すること。 注4 音量規制値は、予告なく変更される場合がある。								

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP 車両規則



No.2

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP クラス 区分			TC-1	TC-2	TC-3		TC-4	TC-5		
内 燃 機 関 (エ ン ジ ン)			新・旧規格	新・旧規格	新規格	旧規格	新規格	新規格	旧規格	
エンジン	排気量	変更	不可 ※ オーバーサイズは 可		不可					
	純正部品	機械加工 変更	自由		不可 ※ 同一型式エンジンの純正部品への変更は認められる。					
	オーバーサイズピストン									
	同一型式エンジン本体	換装	自由 ※ 登録No付車両は、構造変更が必要ない場合に限る。							
	異型式エンジン本体		自由		不可					
	ブローバイホース	取り外し	自由 ※ 取り外した場合、適正オイル量の110%容量以上のキャッチタンクを装備しなくてはならない。ただし、サクシジョンに戻す場合は必要としない。							
	フライホイール	変更 加工	自由		不可		自由		不可	
	マウント	位置変更 変更	自由		不可 ※ 市販品に限り認められる。					
		加工	自由		不可					
		樹脂注入	自由							
その他	取り付け 変更 加工	自由		不可						
ラジエター	本体	変更	自由							
	サーモスタット・キャップ	変更	自由							
	ファン強制ONスイッチ	追加								
	導風板・水温計	設置	自由 ※ 追加メーターを設置する場合は電気式を 推奨 する。なお、水温計取り付けのためのホース加工は認められる。							
オイルクーラー	本体	追加 変更	自由 ※ 安全性を十分に考慮しなくてはならない。							
	フィルター	移動								
	オイルパン	容量変更	自由 ※ 安全性を十分に考慮しなくてはならない。							
	バツフル板	加工								
	油温計・油圧計	設置	自由 ※ 追加メーターを設置する場合は電気式を 推奨 する。							
過給器	本体	NAへのボルトオン	-		不可					
		取り外し(載せ替え)					自由 注5		不可	
	ブローオフバルブ	取り付け 変更					自由			
	インタークーラー	取り付け 変更								
	タービン・アウトレット	変更	自由		-					
	ブーストコントローラー	取り付け							不可	
	アクチュエーター	変更								
	ブーストアップ機構	取り付け 変更 加工								
	その他	取り付け 変更 加工								
ECU	サブコンピュータ 注6	追加							不可	
	フルコンピュータ 注7	追加 変更	自由				自由		不可	
特記事項	<p>注5 過給器の取り外し、または同型式NAエンジンへの載せ替えに限る。</p> <p>注6 PCでの設定変更式(e-マネージ、Fcom-is等)を含む。</p> <p>注7 他車種流用、ROM書換式、PCでの設定変更式(Fcom-Vpro等)を含む。</p>									

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP 車両規則



No.3

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP クラス 区分		TC-1	TC-2	TC-3		TC-4	TC-5			
点火・燃料・吸排気・駆動		新・旧規格	新・旧規格	新規格	旧規格	新規格	新規格	旧規格		
バッテリー	絶縁対策	必修 ※ +端子は確実に絶縁すること。								
	エンジンルーム内の位置	変更	自由 ※ 容量に耐えられる台、またはホルダーを設置し確実に固定すること。							
	バッテリー容量									
	取り付けブラケット									
	室内	位置変更	自由 ※ ドライバッテリーを除き金属製カバー等で覆うなどドライバーから完全に隔離させ、絶縁液漏対策を施すこと。							
点火系		追加 変更	自由 ※ ハイテンションコード・プラグ・アーシング など							
	同時点火(点火方式)	変更	自由	不可		自由	不可			
燃料系	燃料タンク・安全タンク	加工 変更	不可							
	燃料	制限	通常のガソリンスタンドで購入できる製品に限る。							
	インジェクター	容量の変更	自由	不可						
	燃料ポンプ	吐出量の変更								
	ガソリン添加剤	使用								
コレクタータンク	追加	不可 ※ メーカー標準容量が 24L 以下の車両に限り、5 L 以下までの製品の追加が認められる。								
吸気系		変更 追加	自由 ※ 本体・エアクリーナーボックス・パイピング・耐熱バンテージ・導風板 など							
	スロットルボディ	加工 変更	自由	不可		自由	不可			
排気系	エキゾーストマニホールド	変更 加工	自由	不可						
	アウトレット 注8		自由	-						
	キャタライザー (触媒)									
	フロント・センターパイプ		自由 ※ 登録No付車両は保安基準適合品に限る。							
マフラー										
駆動方式		変更	自由	不可		自由	不可			
クラッチ		変更	自由 ※ ディスク・カバー・ホース・ベアリング など							
ミッション	トランスミッション	変更			自由			自由	不可	
	ディファレンシャル				不可 注9					
	LSD (機械式)	取り付け 変更	自由			不可				
	(純正)	後付け			自由					
	(純正)	他車種流用								
	デフマウント・ミッションマウント	※ エンジンマウントの規定に準ずる。								
特記事項	<p>注 8 過給器有車両のみ適用される項目。</p> <p>注 9 機械式LSDの設定がない車種に限り、機械式LSDを装着するためのミッション換装を認める。 その場合はファイナルギアを含め、変更する側のパーツを使用しなければならず、ギア比の変更は一切認められない。 また、換装できるミッションは、ボルトオンで装着できるものに限る。なお、車両申告書には、変更したミッションの詳細を記入すること。</p>									

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP 車両規則



No. 4

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP クラス 区分			TC-1	TC-2	TC-3		TC-4	TC-5		
足回り・タイヤ			新・旧規格	新・旧規格	新規格	旧規格	新規格	新規格	旧規格	
足回り	ブッシュ	強化	自由	※ 登録No付車両で公道を走行する時は、バネ縦方向に遊びが無い状態で9cmの最低地上高を確保すること。	自由	※ 保安基準適合品の使用に限る。登録No付車両で公道を走行する時は、バネ縦方向に遊びが無い状態で、9cmの最低地上高を確保すること。				
	ピロボール	変更								
	スプリング・ダンパー									
	スタビライザー	取り付け 変更								
	サスペンションアーム	変更 他車流用								
		取り付け位置 変更								
	切断 溶接加工	自由	※ 不安全と認められたものは不可。		不可					
制動装置	ピロアッパーマウント	使用	自由							
	ブレーキパッド	変更	自由	※ ブレーキパッド・ローター・ホース・キャリパー・マスターシリンダー（ボルトオンで装着可能な市販品に限る。）						
	バックプレート	取り外し	自由							
	マスターバック	取り外し	不可							
ホイール	ドラム式からディスク式	変更	自由		不可	※ 公認車検取得車両に限り認められる。注10				
	材質・形状	変更	自由							
	オフセット	変更	自由	※ ボディサイズ規定に抵触しないこと。						
	リム幅	変更								
	スパーサー	取り付け 変更	不可	※ ハブボルトに固定できるタイプは認められる。注11						
	ナットの材質・形状	変更	自由	※ ロングタイプの場合、タイヤの真上から見てナットの先端がタイヤ、およびホイールの最外縁部よりはみ出してはいけない。						
	バランスウェイト	脱落防止策	必修	※ テーピングにより脱落防止策を施すこと。						
エアバルブキャップ	取り外し	必修								
タイヤ	サイズ	制限	自由		自由	※ 前後同サイズとする。なお、旧規格NA車両は155mm以下、旧規格過給器付車両は165mm以下とする。注12				
	種類	使用制限	必修	※ 市販ラジアルタイヤと限定し、いわゆるSタイヤ、スリックタイヤは使用不可とする。						
	トップグレードタイヤ	使用制限	自由		不可		自由	不可		
	※ トップグレードタイヤ一覧									
			メーカー	名 称	メーカー	名 称				
			ブリヂストン	ポテンザ RE-11 / RE-01R / RE-01 / RE71R	ヨコハマ	アドバン・ネオバ AD06 / AD07 / AD08				
			ダンロップ	ディレッツァ Z1 / Z2 / スターズベック Z1 / Z2	ファルケン	アゼニス RT615 / RT215				
			トーヨー	プロクセス (トランビオ) R1R	グッドイヤー	イーグル RS スポーツ				
			クムホ	エクスタ V700 / V710 / V720	ハンコック	ヴェンタス R-S3				
			フェデラル	フェデラル 595RSR	A T R	Kスポーツ				
			その他	トップグレードタイヤ (ハイグリップラジアルに分類されるタイヤを含む。)として主催者が判断したもの						
	車体との接触やボディからはみ出し		不可							
	加工									
	スリップサイン		必修	※ スリップサインが出ているタイヤでの出走は不可とする。						
特記事項	<p>注10 変更した場合、関係書類の提出が必要となる。</p> <p>注11 旧規格車両については、自由とする。</p> <p>注12 メーカー純正サイズが規定を超える場合、純正サイズの使用は認められる。</p>									

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP 車両規則



No.5

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP クラス 区分			TC-1	TC-2	TC-3		TC-4	TC-5	
外装・補強			新・旧規格	新・旧規格	新規格	旧規格	新規格	新規格	旧規格
外装	牽引フック	取り付け	必須	※ 前後とも必須とする。なお、後付けタイプの場合、競技中、直ちに牽引できるように取り付けを状態で行うこと。					
	フォグラブ	取り外し	自由						
	マッドガード								
	ヘッドランプ（1灯のみ）	取り外し	自由	不可					
	灯火類 （フォグラブを除く）	作動	必修	※ 全て正常作動とする。 ※ 前照灯が取り外されている場合に限り1灯のみ作動で可。		必修			
	空力装置 （エアロパーツ）	取り付け 変更	自由	※ ボディ形状の変更は、ボディサイズ内でなければならない。 また、形状が鋭利なタイプのものや簡単に脱落する取り付け方法では改善、撤去が求められる。		不可 ※ 6点式ロールゲージ装着車両に限り認められる。 なお、エアロパーツ等の取り付けによるボディ形状の変更は、ボディサイズ内でなければならない。 また、形状が鋭利なタイプのものや簡単に脱落する取り付け方法は改善、撤去が求められる。			
	アンダーコート	取り外し	自由	不可 ※ 6点式ロールゲージ装着車両に限り、保安基準の範囲内での変更は認められる。注13					
	ボンネット	加工 変更							
	サイドミラー	変更							
	リアゲート・リアハッチ								
	フロントフェンダー								
	ドアパネル								
	フロント・リアバンパー	取り外し	不可	不可 ※ 軽量ドアの装着、サイドドアビームの切断加工は認められない。					
	フロントバンパー	加工	不可	※ エンジン冷却装置、ブレーキ冷却への導風目的の穴あけ加工のみ認められる。					
	リアバンパー	加工	不可	※ 外観が大きく変更となる穴あけ、切り取り、加工、および改造、安全が確保されないと判断される変更は認められない。					
フロントウィンドウ	変更	不可	不可 ※ フロントウィンドウ、およびフロントサイドウィンドウへの塗装、保安基準に抵触する色付きフィルム、ステッカーの貼り付けは全て認められない。						
	加工								
フロント外のウィンドウ	変更	自由	※ 肉厚3.0mm以上の製品に限る。 なお、運転席側が変更されている場合は、FIA公認ネットが規定の取り付け方法で設置されていなければならない。		不可				
補強	部材の取り付け	ボルトオン	自由						
		接着剤							
	溶接・リベット 注14	加工	自由		不可 ※ 事故等の修理により必要とされる溶接は認められる。 ただし、著しく走行性能が向上すると認められる場合は不可とする。				
	発泡ウレタン	注入	不可 ※ ボディへの穴あけ、変形、溶接等加工を伴わないものは認められる。						
その他	加工 変更								
特記事項	<p>注13 ボンネットを加工・変更は、安全な範囲で認められるが、ボンネットピンなど確実な方法で固定すること。 リアゲートのダンパーはガスを抜き、ピンで固定することを推奨する。</p> <p>注14 旧規格車両においては不問とする。</p>								

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP 車両規則



No.6

2016 TAKASU.66 CHAMPIONSHIP クラス 区分			TC-1	TC-2	TC-3		TC-4	TC-5																																	
内装・装備品			新・旧規格	新・旧規格	新規格	旧規格	新規格	新規格	旧規格																																
内装	ドライバースシート	変更	自由	※ 変更する場合、シートレール（スライド機構）は必ず装備すること。																																					
	シートベルト	取り付け 変更	必修	※ 2インチ幅以上（3インチ幅以上の使用を強く推奨する。）の4点式以上の装着を義務付ける。取り付けは原則アイボルトとし、その他アングル等の場合には、肉厚3.0mm程度以上を確保すること。なお、登録No付車両については、標準装備のシートベルトの取り外しは認めない。																																					
	室内ミラー	変更	自由	※ 室内ミラーに被せるタイプのもは認められない。																																					
	ステアリング 注15	変更	自由	※ 室内突起や金属部の露出がないこと。なお、危険と判断された場合は、出走できない。																																					
	シフトレバー・ノブ																																								
	ペダル	取り付け 変更	自由	※ 電気式を推奨する。																																					
	補助メーター	取り付け	自由	※ 電気式を推奨する。																																					
	吸盤での取り付け品 アクセサリ等の装飾品	取り外し	必修																																						
	フロアマット 車載工具	取り除き																																							
	助手席・後部座席 アンダーコート スベアータイヤ サンバイザー フロアカーペット	取り外し	自由	不可 注16																																					
	Bピラー前方 その他	変更 取り付け	自由	※ 純正形状を維持し、突起や金属部の露出がないこと。（危険と判断された場合は、出走できない。）																																					
	Bピラー後方 （Bピラーを含む。）	取り外し	自由	※ 安全が確保されていること。危険と判断された場合は、出走できない。																																					
	エアコンディショナー ヒーター	取り外し	自由	不可 注17	不可 注16	不可 注17																																			
	ステアリングコラムカバー	変更	不可																																						
	ロールゲージ	規格	<table border="1"> <tr> <td>材質</td> <td colspan="7">スチール鋼、クロモリブデン鋼に限る。</td> </tr> <tr> <td>パイプ外径・肉厚</td> <td colspan="7">径：38mm × 厚：2.5mm 以上、または 径：40mm × 厚：2.0mm 以上とする。</td> </tr> <tr> <td>取り付け方法</td> <td colspan="7">プレート（面積120㎡、板厚3.0mm以上）を挟んだボルト接合とする。（ピラー止め用ブラケットなどを除き、溶接のみでの取り付けは認められない。）</td> </tr> <tr> <td>保護パッド</td> <td colspan="7">乗員に接触する恐れがある部位には装着も求める。（登録No車両の場合は、国の定める保安基準をクリアできるように取り付けること。）</td> </tr> </table>								材質	スチール鋼、クロモリブデン鋼に限る。							パイプ外径・肉厚	径：38mm × 厚：2.5mm 以上、または 径：40mm × 厚：2.0mm 以上とする。							取り付け方法	プレート（面積120㎡、板厚3.0mm以上）を挟んだボルト接合とする。（ピラー止め用ブラケットなどを除き、溶接のみでの取り付けは認められない。）							保護パッド	乗員に接触する恐れがある部位には装着も求める。（登録No車両の場合は、国の定める保安基準をクリアできるように取り付けること。）					
材質			スチール鋼、クロモリブデン鋼に限る。																																						
パイプ外径・肉厚			径：38mm × 厚：2.5mm 以上、または 径：40mm × 厚：2.0mm 以上とする。																																						
取り付け方法	プレート（面積120㎡、板厚3.0mm以上）を挟んだボルト接合とする。（ピラー止め用ブラケットなどを除き、溶接のみでの取り付けは認められない。）																																								
保護パッド	乗員に接触する恐れがある部位には装着も求める。（登録No車両の場合は、国の定める保安基準をクリアできるように取り付けること。）																																								
4点式	装着	必修	※ 上記規格をクリアする4点式以上ロールゲージの装着を義務付ける。			自由	※ 装着する場合は、上記規格をクリアしなければならない。																																		
6点式	装着	推奨 必修	※ オープンタイプは、上記規格をクリアする6点式以上のロールゲージの装着を義務付ける。																																						
特記事項	<p>注15 エアバック付車両は、走行中に開かないよう作動をキャンセル（ヒューズの取り外し）させること。</p> <p>注16 6点式以上のロールゲージ装着車両に限り認められる。</p> <p>注17 ベルトの取り外しを含む。</p>																																								